



# あいことば 上宇部 2026

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

「しあわせの連さ」

06.02 NO-10

## 子どもたちのために！地域の想いの大きさは計り知れません！

本校では、地域と連携した学習（取組）について、学年ごとに時系列で整理した「学校・地域連携カリキュラム」を作成し、常に見直しを行っています。

6月と2月には「カリマネミーティング」と称した熟議を、全教職員と学校運営協議会委員で実施し、年間の見通しの共有と取組の振り返りを行っています。

昨年度末のカリマネミーティングでは、1年生の生活科で行った取組（サツマイモの栽培と収穫後のふかし芋づくり）について、サツマイモの生育が思わしくなく、収穫がほとんど得られなかったため、子どもたちが収穫の喜びや達成感を十分に味わうことができなかったことが課題として確認されました。

上宇部地域のすばらしいところは、その課題をそのままにせず、「子どもたちのために」と解決に向けて主体的に動き出すところです。右の写真は、その課題解決に取り組まれた地域の方々3名です。



### <これまでの流れ>

- ①昨年度のカリマネミーティングでの課題を受け、地域の方が「今年度はよりよい学習にしたい」と思いを巡らせる。
- ②不作の原因を考え、「今年度は畑づくりから関わろう」と決意し、場所や土づくりの検討を始める。※昨年度は、1年部の教員が多忙の中、急ピッチで準備や畑づくりを進めていた。
- ③学校運営協議会の会長や環境担当委員、畑づくりに詳しい委員と意見交換を重ね、方向性を共有する。
- ④1年生の学年主任と今後の見通しについて協議し、畑の場所や広さを決定する。
- ⑤そして、具体的な行動へ――



肥料を入れ耕し



畝を立て



マルチをかける

ここまで丁寧に準備していただき、いよいよ子どもたちと教員が加わります。近々、1年生の生活科の時間に、子どもたちはサツマイモの苗を植える予定です。地域の方々の想いと行動力に支えられ、今年もすてきな学びが展開されていきます。